

ロングストーリーツアーの造成に係る手引き (第一版)

国土交通省 観光庁

(ロングストーリーによる地域のコンテンツの連携促進に向けた実証調査)

令和6年3月

目次

目次		頁
はじめに	1. 観光庁挨拶	4
	2. 当手引きの位置付け	5
	3. 関連するツーリズムへのニーズ	6
第一章: ロングストーリーツアーとは	1. ロングストーリーツアーとは	8
	2. テーマ、ストーリーとは	9
	3. スルーガイドとは	10
	4. ヨルダントレイルの概要	11
第二章: ロングストーリーツアーならではの造成のポイント	1. モデル事業の一覧	13
	2. 造成手順	15
	3. 造成のポイント	
	A. ターゲット設定	16
	B. ストーリー設定	18
	C. ツアー設計	20
	D. スルーガイド	25
E. ツアー検証	30	
F. 販路	31	
第三章: 関係者のコメント		36
第四章: ロングストーリーツアーの造成事例		41
ご助言いただいた皆様のご紹介		52

はじめに

はじめに

第一章: ロングストーリーツアーとは

第二章: ロングストーリーツアーならではの造成のポイント

第三章: 関係者のコメント

第四章: ロングストーリーツアーの造成事例

ご助言いただいた皆様のご紹介

観光庁挨拶

2022年10月の水際対策の抜本的な緩和以降、訪日外国人旅行消費額は堅調に増加し、2023年は5.3兆円とコロナ禍前の2019年の4.8兆円を超え、過去最高となっており、平均宿泊数も8.8泊から10.2泊に伸びております。

一方、延べ宿泊者数の増加をみると、三大都市圏のみで7割超を占め、地方部での旅行消費額の向上のためには、更なる地方部への誘客が求められる状況となっております。

このような課題解決のため、誘客のフックとなるような魅力あるストーリーを有し、長期旅程でも旅行者を飽きさせない工夫を組み込んだ、「旅全体を通じて一貫したストーリーを有するツアー（以下「ロングストーリーツアー」という。）」を新たに定義し、造成の実証をしてみました。

本事業では、地方誘客、旅行消費額の向上以外にも、持続可能な観光へ向けて、環境配慮、ツアーにおける地域への還元や経済効果、ガイドの報酬等にも留意して事業を実施しております。

本手引きにおいては、これからロングストーリーツアーを実際に造成される事業者の皆様へ向けて、「造成のポイント」として実証事業で得られた知見を取りまとめいたしました。

日本各地で魅力あるロングストーリーツアーの造成がなされることで、活力に満ちた地域社会の持続可能な発展の一助になる事を祈念しております。

最後に、本事業の実施に当たり、数々の助言をいただいた有識者の皆様、ツアー造成に携わっていただいたプロジェクトチームの皆様、実踏研修でご助言をいただいた実務家の皆様、その他関係者の皆様には心からの感謝を申し上げます。

当手引きの位置づけ

手引きの目的 ・ 新しいツアーの考え方である「ロングストーリーツアー」について、その意義と、ロングストーリーツアーならではの造成のポイントの理解を広め、造成を促進することを目的としています。

ターゲット ・ 本手引きは訪日外国人旅行者を想定して作成しています。

想定読者 ・ ロングストーリーツアーの造成・販売に関心はあるものの、知見・経験がない、ツアー造成関係者。(地方自治体、DMO(観光地域づくり法人)、DMC、観光協会、観光コンテンツ提供事業者、旅行会社、ガイド等)

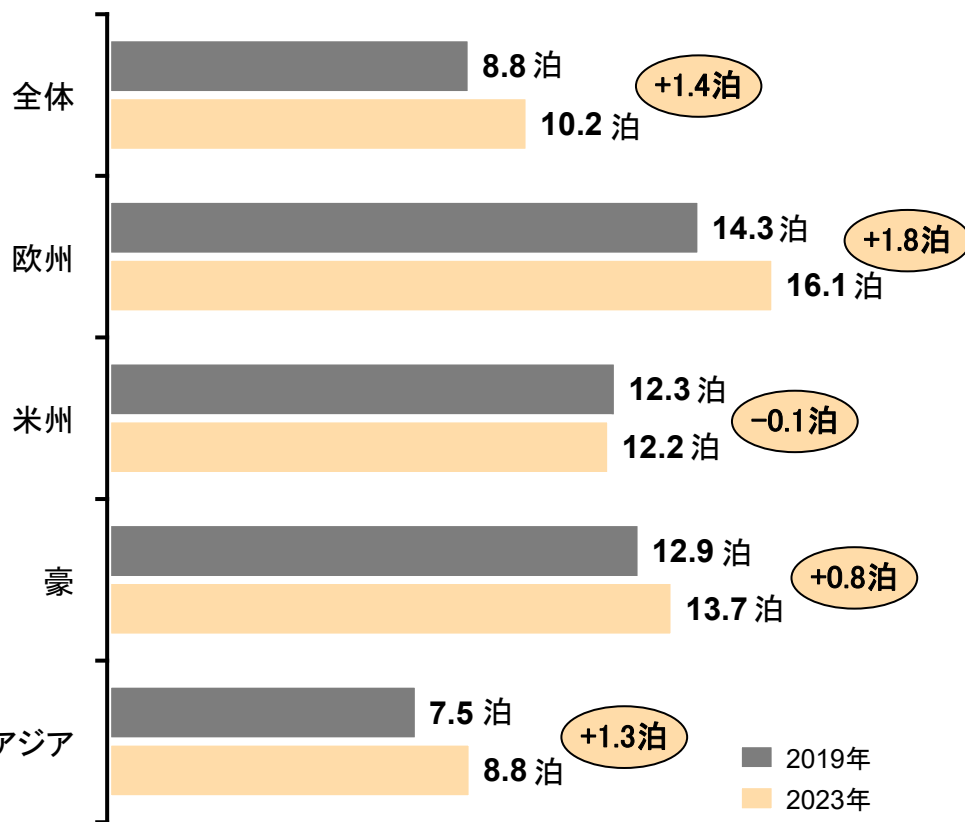
手引きの構成

- ・ 第一章 : ロングストーリーツアーの特徴について紹介
- ・ 第二章 : ロングストーリーツアーならではの造成のポイントを、事例に基づいて紹介
- ・ 第三章 : 実際に造成した方々からのコメントを紹介
- ・ 第四章 : 実際に造成した10件のロングストーリーツアーの紹介

関連するツーリズムへのニーズ

- 訪日外国人旅行者の滞在日数はコロナ禍前の2019年に対し、2023年は1.4泊増となっており、増える傾向にあります。
- 今後市場規模の拡大が予想されるアドベンチャートラベルは地域の自然・文化を体験することにより、未体験の多様な価値観に触れ、旅行者自身の内面に変化をもたらされるような旅行スタイルであり、ロングストーリーツアーは、旅行者が新たな学びや気づきを体感する事を目的としていることから、アドベンチャートラベルのニーズを取り込めることができると考えています。

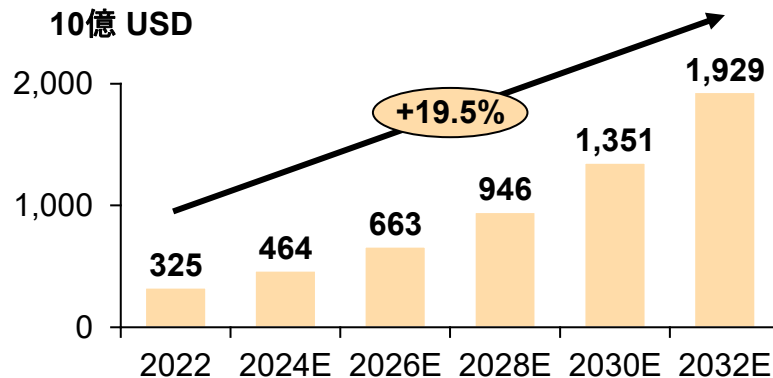
訪日外国人旅行者の平均泊数の変化*1



1人当たり旅行支出額(上位五か国)及び平均泊数*2

1	スペイン	341,562 円/人	16.2 泊
2	オーストラリア	340,604 円/人	13.7 泊
3	イタリア	335,691 円/人	13.9 泊
4	英国	330,811 円/人	15.2 泊
5	フランス	324,092 円/人	18.0 泊

アドベンチャートラベルのグローバル市場規模予測*3



*1訪日外国人消費動向調査より <https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syouthityousa.html>

*2【訪日外国人消費動向調査】2023年暦年 全国調査結果(速報)の概要より。 <https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/content/001718104.pdf>

*3Allied Market Research社レポート(2023年10月出版)より。 <https://www.alliedmarketresearch.com/adventure-tourism-market>

第一章：ロングストーリーツアーとは

はじめに

第一章：ロングストーリーツアーとは

第二章：ロングストーリーツアーならではの造成のポイント

第三章：関係者のコメント

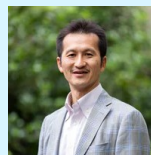
第四章：ロングストーリーツアーの造成事例

ご助言いただいた皆様のご紹介

ロングストーリーツアーとは

- ロングストーリーツアーとは、一週間以上にわたり、一貫したストーリーのもと地域のコンテンツを巡りながら、スルーガイド等とのコミュニケーションを通じ、旅行者が新たな学びや、気づきを体感することを目的とするツアーです。
- これまでにない組み合わせの地域を訪問したり、地域連携や地域還元効果のあるツアーとすることで、より新しいニーズを取り込み、地域の活性化や、住民の地域への誇りの醸成に貢献することに繋がるものとして期待できます。

<p>ロング ストーリー ツアー とは</p>	<p>一週間以上にわたり、</p>	<p>一貫したストーリーのもと 地域のコンテンツを巡りながら、</p>	<p>スルーガイド等とのコミュニケーションを通じ、 旅行者が新たな学びや、気づきを 体感することを目的とするツアー</p>		
<p>必須条件</p>	<p>ツアー期間が 一週間以上である</p>	<p>一貫した ストーリーを 有する</p>	<p>地域のコンテンツが ツアーに組み込まれ ている</p>	<p>全日程を同行する スルーガイドが 存在する</p>	<p>旅行者が 新たな学びや 気づきを体感する ことを目的とする</p>
<p>付加条件</p>	<p>異なるエリアをつないだツアーであること</p>				
<p>地域と連携できており、地域への還元効果が期待できること</p>					



川原 氏

これまでのように隣接した地域や圏域でなくても、**ストーリーとして繋がれば、これまで考えられなかった離れた地域同士を結ぶツアーが**つくれることに新しさがあると思います。

テーマ、ストーリーとは

- ロングストーリーツアーにおけるテーマとは、「ストーリーに、一貫性をもたせる、軸となるキーワード」です。
- ロングストーリーツアーにおけるストーリーとは、「テーマやそれを生み出した地域の自然・歴史・文化の成り立ち」と、「旅の体験を通じて旅行者の価値観に変化を与えるような、メッセージ」が含まれたものです。

テーマとストーリーの具体事例

<p>テーマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「武士道精神」「武道」「武家文化」「武士の生き方」「日本の精神文化」
<p>ストーリー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「サムライ」は日本独自の文化として海外でも人気が高く、訪日観光情報サイトの「japan-guide.com」では、「武士道は本質的に儒教的で、忠誠、自己規律、敬意を持った倫理的行動を示す」「多くの武士は禅仏教の教えと実践に惹かれた」と紹介され、武士道精神が尊敬の対象となっている。 居合道、弓道、剣道、相撲道などの武道とともに、能・狂言・茶道・生花なども武家文化として受け継がれ武士道精神が今も息づいているが、当ツアーでは、さらに、ラストサムライ達の武士道精神が成した旧庄内藩士の開墾の地にも足を運び、サムライ達が新たな時代を生き抜くために何を成し遂げ、何を残してきたのかを学ぶことができる旅となっている。 ・ 【新しい価値観との出会いの流れ】 武道、武家文化を東京、金沢で体験し、その後、山形でラストサムライの葛藤や新たな決断に触れ、自らの行動変容(トランスフォーメーション)につなげる。 ・ 【旅を通じて深めることができる視点】 真の武士道精神を探求。日本の精神文化を理解できる。

スルーガイドとは

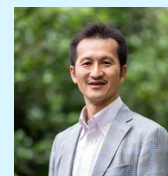
- ロングストーリーツアーにおいて、スルーガイドは、旅の全体を通したストーリーを伝えるという重要な役割を担います。

スルーガイドの役割

- ツアーの全行程に同行して旅行者の行程・安全を管理し、旅行者が旅全体を通したストーリーを感じるために、手助けを行います。
- ツアーの遂行だけでなく、旅行者の希望にこたえたり、楽しませたりなど、様々な役割が求められます。
- 遠隔地を結ぶツアーでは、リレー方式でガイドをすることも可能です。
- 特定の地域やコンテンツにおいては、地域の方(地域のガイド(ローカルガイド)、生産者、職人等)とも連携しながらガイドをすることで、旅行者が地域と直接交流ができ、より深い体験ができます。

【地域の方の役割】

- 数時間～1日程度で、その地域の観光案内やコンテンツについての紹介を行い、体験の中でストーリーを伝えます。
- 日頃はガイドをしていない、生産者や職人の方からの話もストーリーを体感する上で重要です。
 - － 例) 昼食で手料理をふるまう地元のお母さん
実際に日本刀の製造に関わる職人



川原氏
スルーガイドは、引き出しが多く、旅行者と地域をつなぐこともでき、時に旅行者の人生相談にも乗るような人を私はイメージしています。

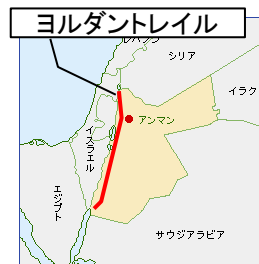
ヨルダントレイルの概要

本事業では、参考事例としてヨルダントレイルを選定し、現地にて調査を行いました。調査で得られた具体的な知見は、第二章以降で紹介しております。

ここでは、ヨルダントレイルの概要について紹介します。

トレイル内容

ヨルダンには、アンマンを首都としてイスラエル、シリア、イラク、サウジアラビアと国境を接するアラブの国です。ヨルダントレイルは、全長675kmの長距離ハイキングトレイルで、約40日かけて75の村や街を巡りながら、ヨルダンの大自然や歴史遺産、ホームステイを通じた文化交流を体験することが出来るヨルダンを代表するトレイルです。



テーマ

砂漠から美しい海まで、ヨルダントレイルの様々な表情の風景に息づく多層な歴史文化

ストーリー

ヨルダントレイルの様々な表情の風景に目を奪われますが、その自然の上に成り立つものが文化であるがゆえに、風景とともに文化的にも変化を見せています。過去には紀元前から様々な文化が栄え、現在でも移民の受け入れなどにより非常に多様化しています。宗教的な観点でも、ヨルダンは歴史的にはキリスト教の起源の地であり、宗教遺跡も多くある一方で現在はイスラム教徒が9割以上を占めています。さらに近年まで遊牧生活を送っていたベドウィン族の暮らしぶりなど、さまざまな文化的要素が多様に折り重なってこの現在のヨルダンを形づくっているのです。



現地調査時にトレイルを共に巡ったスルーガイド(左)と各地域のガイド(右)

(※) ヨルダンへの渡航に関して2024年3月現在、下記の海外安全情報が外務省より出されております。渡航の際は最新の情報をご確認ください(外務省海外安全ホームページ: <https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

・シリアおよびイラクとの国境地帯: 不要不急の渡航は止めてください。(継続)

・その他の地域: 十分注意してください。(継続)

第二章：ロングストーリーツアーならではの造成のポイント

はじめに

第一章：ロングストーリーツアーとは

第二章：ロングストーリーツアーならではの造成のポイント

第三章：関係者のコメント

第四章：ロングストーリーツアーの造成事例

ご助言いただいた皆様のご紹介

モデル事業の一覧(1/2)

- 本章は、以下の10のモデル事業におけるツアー造成において得られた知見を元に、ロングストーリーツアーならではの造成のポイントを取りまとめました。

チーム名 (略称)	ツアー名	テーマ	ストーリー概要 (青字:体験内容、赤字:学び)
松本高山	Live together with Japanese Alpine Culture -Associate with craftsmanship, architecture, and water-	「木工技術」、「建築技術」、「木と暮らしの関わり」、「山・水の自然」、「持続可能」	松本・高山の異なる文化圏に広がる「木の文化」「水の文化」を知り、その起源となる北アルプスでの営みに触れることで、自然との共生ではぐまれた「資源循環」「資源再生」「人間性の再生」があることを体感する。
鯖街道	IN SEARCH OF WASHOKU : THE MACKEREL HIGHWAY	「和食」、「日本の暮らし」、「ものづくり」、「自然との共生」	和食のルーツである鯖街道の暮らしを体験することで、自然の尊重、自然と食への祈りの文化、食や命を大切に感謝の心を学ぶ。
みやぎ	MORI-SATO-UMI Voyage : Navigating Growth, Effecting Change	「森里海の連環」、「震災と復興」、「持続可能性」	「森里海の連環」の語り手となる地域の人々との出会いを通じ、「彼ら・彼女ら」のナラティブに触れながら、「震災と復興」という共通の大きなストーリーを見出し、持続可能な未来を共に創るという「我々の物語」の一部となる。
日本刀	The Japanese sword story ~Tamahagane and Master swordsmith~	「日本刀」、「武士道」、「ものづくりの精神」、「日本文化」	「日本刀」をテーマに、本物(名刀・玉鋼)との出会い、刀匠・職人との交流を通じ、日本文化・日本刀(現代刀)への畏敬の念を深め、高める。
お遍路	Shikoku Pilgrimage AT -The Dojo of AWAKENING-	「巡礼」、「仏教」、「日本人の心」、「持続可能」、「精神文化」	弘法大使の巡礼旅を追体験しながら、教えや考えに迫り、自分の心と向き合いつつ人生で本当に大切なことは何かを再考し、内なる心の静けさや平和を求る四国遍路巡礼を発心する。

モデル事業の一覧(2/2)

チーム名 (略称)	ツアー名	テーマ	ストーリー概要 (青字:体験内容、赤字:学び)
サムライ	Samurai Story (Kanazawa,Tokyo,Yamagata)	「武士道精神」、「武道」、「武家文化」、「武士の生き方」、「日本の精神文化」	サムライの繁栄期から衰退期における文化体験を通じ、日本の精神文化を理解し、現代に繋がる学びを得る。
茶の湯	7 Day Craftsmanship of Tea Tour [Kyoto, Uji and Aizu-wakamatsu]	「ものづくり」、「職人」、「茶の湯」、「ウェルビーイング」、「サステナビリティ」	茶の湯のものづくりに関連する体験を通じ、文化の礎となった風土や歴史を見つめ持続可能な社会における人と自然のウェルビーイングを探り、つくる行為や現代社会の暮らしや働きを捉え直すための叡智に気づく。
黒潮	Bounty of the Kuroshio : Hiking and Snorkeling in National Parks	「黒潮の恵み」、「日本の気候」、「国立公園」、「サンゴ礁シュノーケル」、「みちのく潮風トレイル」	島国日本の地理的特徴である山と海の近さ、それを感じる体験を通して、日本の魅力の「なぜ」を紐解きながら人と自然との共存を「自分ごと」に感じられるようになる。
熊野古道	Long Trail – Kumano Kodo Iseji Pilgrimage Journey	「熊野古道伊勢路」、「ロングトレイル」、「巡礼・宗教・精神文化」、「自然」、「日本の暮らし・地域」、「江戸の旅文化」	熊野古道伊勢路の豊かな自然を歩くロングトレイルや地域での自然文化体験、地域の方との交流を通じて、日本の祈りと精神文化を体感します。
琉球奄美	RYUKYU : The Sacred Island of JAPAN	「アウェアネス」、「神話・神人」、「霊山」、「自然と共にある精神文化」、「自然崇拜・先祖崇拜」	解放された六感で捉える大いなる存在-神との一体感を体得し、これまでとは違う人生を歩き始める。

ロングストーリーツアーの造成手順

ロングストーリーツアーの造成手順は、ツアー造成の初期の段階にある条件によって3つの種類が考えられます。

	ターゲット先行タイプ	ストーリー先行タイプ	コンテンツ先行タイプ
概要	<ul style="list-style-type: none"> 誘客したい旅行者層が明確にあり、それを軸に、ツアーを造成するタイプです。 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行者に伝えたいストーリーが明確にあり、それを軸に、ツアーを造成するタイプです。 	<ul style="list-style-type: none"> ツアーに組み込みたい地域やコンテンツが明確にあり、それを軸に、ツアーを造成するタイプです。
手順	<p>手順ごとの造成ポイントについては、次ページ以降で解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> A.ターゲット設定 B.ストーリー設定 C.ツアー設計 D.ガイド E.ツアー検証 F.販路 	<ul style="list-style-type: none"> B.ストーリー設定 A.ターゲット設定 C.ツアー設計 D.ガイド E.ツアー検証 F.販路 	<ul style="list-style-type: none"> C.ツアー設計 A.ターゲット設定 B.ストーリー設定 D.ガイド E.ツアー検証 F.販路
該当チーム名 (敬称略)	<ul style="list-style-type: none"> 松本高山 	<ul style="list-style-type: none"> みやぎ、茶の湯、サムライ、日本刀 	<ul style="list-style-type: none"> 鯖街道、お遍路、黒潮、熊野古道、琉球奄美

ターゲット設定

- ターゲットとは、誘客したい旅行者層の事です。
- ターゲット設定で重要なのは、①:ストーリーやテーマ等がターゲットに訴求でき、②:販売時に旅行会社や広告メディア等を通して、ターゲットに情報を届けられることです。国籍や年代などの属性だけでなく、旅行者の嗜好を分析する必要があります。
- なお、長期滞在及び地方誘客を目指すロングストーリーツアーは、欧米豪に在住する、時間的・経済的な余裕のある、新しい価値観をもつ層との親和性が比較的高いと考えられます。

ターゲット設定のポイント

①:ストーリーやテーマ等がターゲットに訴求できること

- ・ ストーリー、テーマ、体験内容、宿泊施設などの観点から、ツアーにとって適切なターゲットを設定することが重要です。
 - ツアーに組み込む地域や、類似のツアーに来訪しているインバウンド旅行者の国籍や属性がヒントになります。
 - ツアーのテーマが旅行や趣味のテーマとして確立されていれば、共通の趣味を持つコミュニティや、テーマに高い関心を持つ人が有力なターゲットとなります。
 - ツアーの特性を踏まえた文献調査や、DMO(観光地域づくり法人)、旅行会社へのヒアリングもターゲット選別に有効です。

ターゲット設定

ターゲット設定のポイント

②: 販売時に旅行会社や広告メディア等を通して、ターゲットに情報を届けられること

- 旅行者に旅行会社や広告メディア等を通して、情報を届けられるターゲット設定である必要があります。
 - ターゲット層の設定として不適切な例
 - ・ SBNR層(※)など、価値観をベースに絞られたターゲット
 - ・ 「欧米豪」や「富裕層」など、やや漠然としたターゲット

上記のように一見ターゲットを特定できていても、市場で確立されていないグルーピングであったり、範囲が広すぎたりすると、実際には想定した旅行者へ情報が届けられない場合があります。

(※)SBNR層とは「Spiritual But Not Religious」の頭文字で、宗教的ではないが、精神的な豊かさを求める人のことを指します。

ストーリー設定

- ストーリー設定はロングストーリーツアーの重要な要素です。ストーリーを設定する際は、以下のポイントに留意しましょう。

ストーリー設定のポイント

①:ストーリー設定の5つのポイント

1. 価値観や物の見方に変化を与えるようなメッセージが含まれていること
2. 旅行者や旅行会社が関心を持つ、魅力的なテーマに紐づいたストーリーであること
3. 旅行者が理解できる・共感できるストーリーになっていること

※上記はターゲットのペルソナを設定して検討する事で、本当に刺さるストーリーになっているかを確認することができます。特に、ニッチなテーマ・ストーリーであるほど、ペルソナに基づいてストーリーを設定することが重要になります。

4. ツアーを通して実際に体感できるストーリーであること

※ターゲットの考え方やニーズに詳しく、現場でストーリーを語るスルーガイドが、旅行企画者と一体となってストーリーを設定することが有効です。

5. 同じテーマや競合となるテーマのツアーと比較して、新規性があり差別化されていること



永原氏
最終的には、旅行者がどこに感動して、友人などにどんなふう伝えるかというところが、その旅の魅力なのかなと思います。

ストーリー設定

ストーリー設定のポイント

②:タイプ別、ストーリー設定の留意点

ツアーのどこから造成を始めるかで、留意すべきポイントが異なります。

ターゲット先行タイプ

- 最新の潮流などから旅行者に対して、ニーズのあるテーマを捉え、ストーリーを設定しましょう。

ストーリー先行タイプ

- メッセージ性が強い分、ストーリーが複雑になる場合があるので、伝わりやすさにも留意して設定しましょう。
- また、旅行者のターゲット設定を仮定し、訴求力やリーチが可能かに注意してストーリーを設定しましょう。

コンテンツ先行タイプ

- コンテンツに合わせてストーリーを設定するため、ストーリーが曖昧であったり、普遍的になりやすいタイプです。
- 旅行者のターゲット設定を仮定し、訴求力に注意してストーリーを設定しましょう。



高山 氏

ストーリーに沿って旅をしていく中で「**自分達が違う人に成長するんだ**」ということを「**どう見せるか**」が一番難しい所です。

ツアー設計

- ツアー設計は、旅行者が長期間飽きずに楽しみ、実際にストーリーを感じるために重要です。留意すべきポイントについて、実際の具体事例と共に紹介いたします。

ツアー設計のポイント

①:各体験をする意義を感じられること

- なぜこの体験をするのかについて、ストーリーの観点から納得できることが重要です。
- 各体験は、地域ならではの独自性や特別感を感じられることが重要です。

ストーリーとの結びつきで、地域の独自性を演出した例
(松本高山チーム)



地元の方の案内で、湧水群を巡りながら、水が街づくりと、人の普通の生活に密接に結びついていることを知り、水源で、自分の好きな水を見つけて汲み、休憩スポットでその水で淹れたコーヒーを楽しみます。

水を汲むという、何気ない内容もストーリーと結びつける事で、地域の独自性を演出する事が可能です。

地域の方との深い交流により、特別感を演出した例
(鯖街道チーム)



料理人の食事を味わった後、材料の収穫・買付、調理工程(かまど炊き体験)、を共に体験し、再度その料理人の食事を食べることで、料理人や生産者が込める思いを体感できる設計になっています。

また、料理人と共に行う収穫、買付等の体験は特別感が感じられます。

ツアー設計

ツアー設計のポイント

②:ストーリーを体感できる流れや順番で、各体験が配置されていること

- 体験コンテンツをただ並べたり、日々が単発になっておらず、行程につながりを持たせることが良いツアーを造成するポイントです。
- 各体験コンテンツを体験する意図を整理したり、ストーリーを区切ったサブストーリーを設定し、行程と対応させることで、行程にストーリーを感じさせる繋がりができます。

サブストーリーを設定し、行程につながりを持たせた例
(サムライチーム)

サムライを
イメージから実在へ

修行を通じた
武士道精神の体得

武士道精神が興した
近代産業



サムライの子孫との対話から、
実在したサムライを実感



立禅と呼ばれる弓道を通じ、
武士道における、禅を体感



5時間にわたる居合道の鍛錬
で、心身共に武士を体感



旧庄内藩士が開墾した
養蚕業から、ラストサムライの
葛藤・決断に触れる

ツアー設計

ツアー設計のポイント

③: 体験にバリエーションがあるツアー行程にすること

- 旅行者を惹きつけるために、毎日同じ体験ばかりではなく**体験にバリエーションがある**ことが重要です。
- 具体的には、地域の定番スポットを組み込み楽しませる、インプットだけではなくアウトプットも入れて静と動のバランスを調整する、などの工夫が有効です。

体験にバリエーションをつけた例 (琉球奄美チーム)



奄美大島の山に自生する木の成分と、泥に含まれる鉄分の反応により染め上げる、大島紬の泥染め体験は、奄美に息づく自然と、文化の関係性を深く感じられます。一方、島内を巡るサイクリングは一見すると、ストーリーとの関係が薄いですが、島の景色や地域の人との出会いを演出できます。

旅行者を飽きさせないよう、ストーリーとの関係に留意しながら体験にバリエーションをつけて、ツアーを設計する必要があります。

インプット・アウトプットのバランスが取れた例 (松本高山チーム)



木工作家のお話を聞いた後に、実際に木工のかんな仕上げを体験します。

インプットだけではなく、木工のかんな仕上げというアウトプットも行程に入れることで、旅行者が飽きずに楽しむことが期待できます。

ツアー設計

ツアー設計のポイント

④：地域還元の工夫

- 地域での消費を促し、地域社会・経済の活性化に繋がるような工夫をしましょう。

空き時間を活用して、地域での消費を促す例
(みやぎチーム)



行程の空き時間に、ガイドおすすめの地元のカフェで休憩をする際、物販コーナーに、次に訪問する予定の職人さんの品が並んでおり自然と購買意欲を喚起します。

行程調整のためにも、このようなストックを持っておくの良いです。

体験を通じて、商品の価値を高めた例
(茶の湯チーム)



工房見学の際、3日かけて窯焚きし、その1~2割程度がショップに並ぶことや、作品にかける思い・歴史等を陶芸職人から聞く事で、その後のショップで見ると商品の価値を向上させます。

「特別なもの」を購入できる機会の演出は、旅行者の購入意欲を高めるとともに、満足度の向上にも繋がります。



永原氏
地域への還元・消費を高めるため、**地元産の商品やお土産が購入できる機会や飲食店に立ち寄れる場面の設計**など、追加の消費を促す設計が有効です。

ツアー設計

ツアー設計のポイント

⑤: その他、ツアー設計時の工夫

- 旅行者が快適に長期間過ごせるよう、旅行者の背景やツアーの特性を踏まえた適切な配慮が求められます。具体的には以下の観点等が考えられます。
 - 旅行者に思わず「Wow!」と言わせるような体験を要所要所に盛り込んでいるか。
 - 環境負荷への配慮はされているか。
 - 顧客の多様性に合わせた配慮はされているか。
 - 怪我や病気、災害が発生した場合の対応は検討されているか。
 - ターゲットに合わせた宿の選定になっているか。



高山 氏
SDGsなど、いわゆる環境負荷やマナーは、ツアーを実施することで**地域の人**が「**やってくれて本当良かったね**」となるかどうかの**視点を持つ事が大事**です。



村山 氏
同じテーマでも**旅行者の興味関心度の深さ**が**変わってくる可能性がある**ので、両方に対応できるプランを用意しておく等の設計は**重要**です。



永原 氏
送客する側の目線でいうと、**お客さんは宿のクオリティで有り・無しを判断することが多い**と思います。特に富裕層のお客様になればなるほど、**気にするポイント**です。

永原 氏
実は、**販売をした後がスタート**で、そこからどれだけ作り込んで、**どれだけアップセルをして、どれだけ地域のファンになってもらうか**というところが**大事**です。

スルーガイド

- スルーガイドの主要な役割は、①:ストーリーテリング、②:マネジメント、③サステナビリティです。
- これらは、ターゲット顧客の考え方や教育、歴史感の理解に基づいて実行される必要があります。

スルーガイドの役割

顧客理解

- ・ 旅行者の教育や歴史観、興味など、旅行者の背景を理解すると共に、旅行者の体験・説明への反応、体調等をその場で察する能力が必要です。
- ・ 上記は旅マエの把握だけではなく、旅ナカにおいてもコミュニケーションを継続し、情報更新をしていくことが求められます。

①:ストーリーテリング

- ・ ローカルガイドと連携して、ツアー内で出会う自然や文化、歴史や地学的な成り立ちなどについて、ツアー全体で感じてほしいストーリーと連動させた解説を行います。

②:マネジメント

- ・ 顧客の状況やその日の天候などに対応しながら適切に案内をし、グループ全体をマネジメントしましょう。
- ・ 安全リスクがある部分については旅行者への適切な説明、リスクへの対応準備が必要です。

③:サステナビリティ

- ・ 旅行者の来訪が地域社会への負担とならないよう、観光マナーの共有等、地域環境への配慮を行きましょう。
- ・ 行程で自然と地域消費を促し、地域経済の活性化に取り組みましょう。



マーク氏

旅行の全体を知っているスルーガイドが、旅の全体を把握して、コーディネートする必要があります。

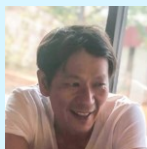
スルーガイド

- ロングストーリーツアーの特徴である、「ストーリーテリング」のポイントについて解説します。

ストーリーテリングのポイント

①: インタープリテーション

- すべてを通訳するのではなく、旅行者の興味やストーリーに合わせて情報の取捨選択をすることが重要です。
 - 説明のための情報量が多い場合は、冊子など補佐的に情報を伝えるツールを作成することも有効です。
 - ローカルガイドやコンテンツ提供者と連携し、伝える内容の絞り込みを事前に行う事も効果的です。
- 直訳でなく、旅行者の知識や文化に合わせた分かりやすい伝え方が重要です。
 - 専門用語の説明のために、ガイドスクリプトを事前に用意することも有効です。その際も、その場の状況に応じてガイディングをし、台本のように読まないように注意しましょう。



國谷氏

情報の取捨選択は非常に重要。100の情報を徹底的に頭の中に入れて、練って練って練ったから、適切な10が出せるというところだと思っています。



高山氏

インタープリテーションの際は直訳ではなく、意味を損なわないようキーワードを中心に自分の言葉で組み立てて意識しましょう。

また、相手のバックグラウンドに合わせた説明を心がけましょう。例えば地域における歴史上の出来事について説明する際は、旅行者の国における同時期の出来事を用いて説明すると良いです。

スルーガイド

ストーリーテリングのポイント

②:Wowの演出

- 顧客に思わず「Wow!」と言わせるような体験を要所要所に盛り込み、実現しましょう。
 - Wowの演出はストーリーテリングだけでなく、ツアー設計の段階から意図して組み込むことも有効です。

ガイドが主体となって、Wowを演出した例 (ヨルダントレイル)



トレッキングの休憩ポイントに、先回りして紅茶を用意し、ガイドが道中説明しながら摘んでいた野生のハーブをマグカップに入れてくれます。

全ての行動が繋がると何気ない事も、Wowな体験になります。

ツアー設計において、Wowを演出した例 (鯖街道チーム)



和菓子作り体験をした後、その日の夕食時に旅行者の顔に似せて作られた和菓子が用意されています。



高山氏

海外ではよくCEO(チーフエンターテイメントオフィサー)と言っており、**旅を盛り上げる人が望ましい**。人間的に面白い、地域の人たちにも受け入れられているといった人柄が大事です。

(参考)ストーリーテリングに役立つツール(1/2)

- 日本独特の産業や文化などがテーマになっており、説明のための情報量が多くなる場合は、各体験の意味やストーリーを補足的に説明するストーリーブックを提供する事が有効です。
- ストーリーブックがある事で、体験中に伝える情報量を少なくし、旅行者が体験を通じ、「感じる」ことに集中する事ができます。

ストーリーブックの例 (日本刀チーム)



(ストーリーブック作成の際に参考になる資料)



熊野古道英語ガイド本
(KUMANO KODO Official Guidebook)
: 田辺市熊野ツーリズムビューロー

外国人旅行者目線で地域の魅力をわかりやすく伝えている書籍です。

(参考)ストーリーテリングに役立つツール(2/2)

- スルーガイドがガイディングの流れを把握し、正確に解説するために、ガイディングのポイントや、専門用語及び予備知識の説明を載せたガイドスクリプトを準備することも有効です。

ガイドスクリプトの例 (松本高山チーム)

ガイディング例 (参考トークスクリプト)

田中社長は酒造りへの愛、従業員への愛、地域への愛、そして文化を大事にされるとも魅力のある方で、僕は最初にお話を聞いた時とても感動したのを覚えています。おそらく田中社長から皆様によくさんお話しして下さると思いますが、内容がかなり深いので事前におし説明をさせていただきます。

まず皆様には日本酒がどういう風に作られるのかご説明します。

こちらをご覧ください。

日本酒とワインとビールの作り方が分かります。ワインは原材料となるぶどうに糖分が含まれています。そのためぶどうから搾り取った果汁の中に、酵母を加えてから発酵させます。

ビールの原材料となる麦には日本酒の原料である大麦芽とお米と同様、糖分がありません。そのため麦芽を糖化をさせ糖化液にホップを加えます。そして煮沸・冷却し酵母を加えてビールを作ります。日本酒の原料であるお米には糖分がありません。そのためお米でんぷん質を糖に変えるため麹を加えて糖化を行います。その後、酵母を加えて時間をかけて発酵させていく方法です。糖化と発酵という作業が同時に同じ容器の中で行われます。

そしてこちらの図では日本酒が出来るまでのプロセスが書いてあります。かなり手順が分かっているのが分かります。(別紙2つ)

大塚州のこだわりはこの中にあります。

田中社長は「文化をピンに詰める」と言っています。

文化とはこの地域の気候風土、農業、酒造、食、料理などその土地の風土を映し込んだ地酒と言っています。

例えば多くの酒蔵は兵庫県の「山田錦」の造米を使っている。大塚州は長野県内の契約農家10軒で独自の造米を作っている。ここで育ったお米を使う事へのこだわりがあります。

また日本酒とは通常通りする事で、雑味や好ましくない香りを除去したり、酵素や乳酸菌を除去します。

しかし「大塚州」の酒のほとんどは「無濾過」です。

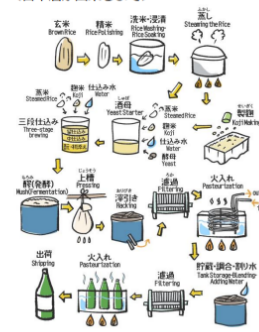
「濾過」すると、無色で「雑味」のない味が得られます。しかし、「芳醇」な香りやお米の「旨味」、そして何より大事な「個性」や「輝き」、手造りの「感動」が引かれてしまうのです。

「大塚州」の酒は、生まれたままの表情をそのままに伝えたいと言っていました。

大塚州で働く人が若い20代の人が多く見られます。そして活発に動き回っているのをよく覚えていてます。大塚州の「愛感謝」の精神が若いスタッフにも宿り、お酒造りされているのだと感じました。

さあ、では実際に大塚州へ行ってみましょう

<日本酒が出来るまで>



<日本酒・ビール・ワイン 製法の違い>



Kita Alps Traverse Route

高山市概要

高山市は岐阜県北部の飛騨地方に位置し、東に飛騨山脈、西に両白山地を望む盆地。2005年に実施された平成の大合併により近隣9町村と合併し、現在の2177.61km²の面積となりました。これは東京都とほぼ同じ大きさであり、日本で一番広い面積を持つ「市」となります。高山市の人口80,937人(2023年12月)

高山市の歴史

-飛騨国の国主となった「金森長近」

戦国時代になると、豊田秀吉の命を受けて天正十四年(1586年)に飛騨入りした金森長近(ながちか)は、高山城や国分寺などを再興し、高山の町づくりを始めます。長近は土地条件から天神山古城(現在の城山)に城を築くことにしました。城の建設は天正16年(1588年)から始まり、13年間で本丸、二之丸を完成させ、その後3年間で三之丸が築かれました。日本国中に5つとない見事な城であったと記録が残っています。

金森氏の時代は6代107年間続きましたが、飛騨の豊富な森林資源と鉱物資源に目を付けた徳川幕府は、金森家を出羽に移封し、元禄五年(1692年)飛騨を天領とします。

-25代177年間続いた幕府直轄時代

幕府直轄地(天領)となった飛騨は、25代177年間続き、江戸から来た代官(12代からは郡代)が高山陣屋で政治を行いました。武士が少なくなり、相単位による自治が進んだ高山では、強固な団結の元に祭礼を行ない、やがて現在の高山祭を形作っていきます。

幕末から明治になると、財力を持った旦那衆が張り合うように、祭礼の象徴である屋台の改修に出資し、工匠たちに技術を競わせ、絢爛豪華な現在の屋台となりました。また、商家や造り酒屋の邸宅は、京の雅な様式と江戸の力強い構成に、飛騨の匠の技術を加えた建築として知られています。

-高山祭

毎年春に開催される「山王祭」、秋に開催される「八幡祭」。この2つの祭りの総称を高山祭と呼びます。高山祭は日本三大美祭のひとつに挙げられ、地域の方々によって受け継がれてきた伝統、そして飛騨の匠の技術が詰まった豪華絢爛な屋台を見ることが出来ます。

ツアー検証

- ロングストーリーツアーは、ターゲット、ストーリー、ツアー設計、ガイドングのそれぞれが整合していることが重要です。
- ツアーの大枠が決まったら、実際のツアー行程を再現して、ターゲットとする顧客の視点から相互的に確認をしましょう。

ツアーの検証に当たって、チェックすべきポイント

ターゲット層との合致性

- ・ ターゲットの視点で、体験や説明などが興味をそそる内容であるか。
- ・ 宿のクオリティや選定等、ターゲットに見合ったものになっているか。

ストーリーの魅力度と体験との整合性

- ・ 体験とストーリーとの整合性、各体験をする意味が感じられるか。
- ・ 行程が終わった後の新たな学びや気づきを感じられるか。

ツアー設計の適切さ

- ・ 体験コンテンツの流れや順番、地域への循環性、サステナビリティなどに関して適切に設計できているか。

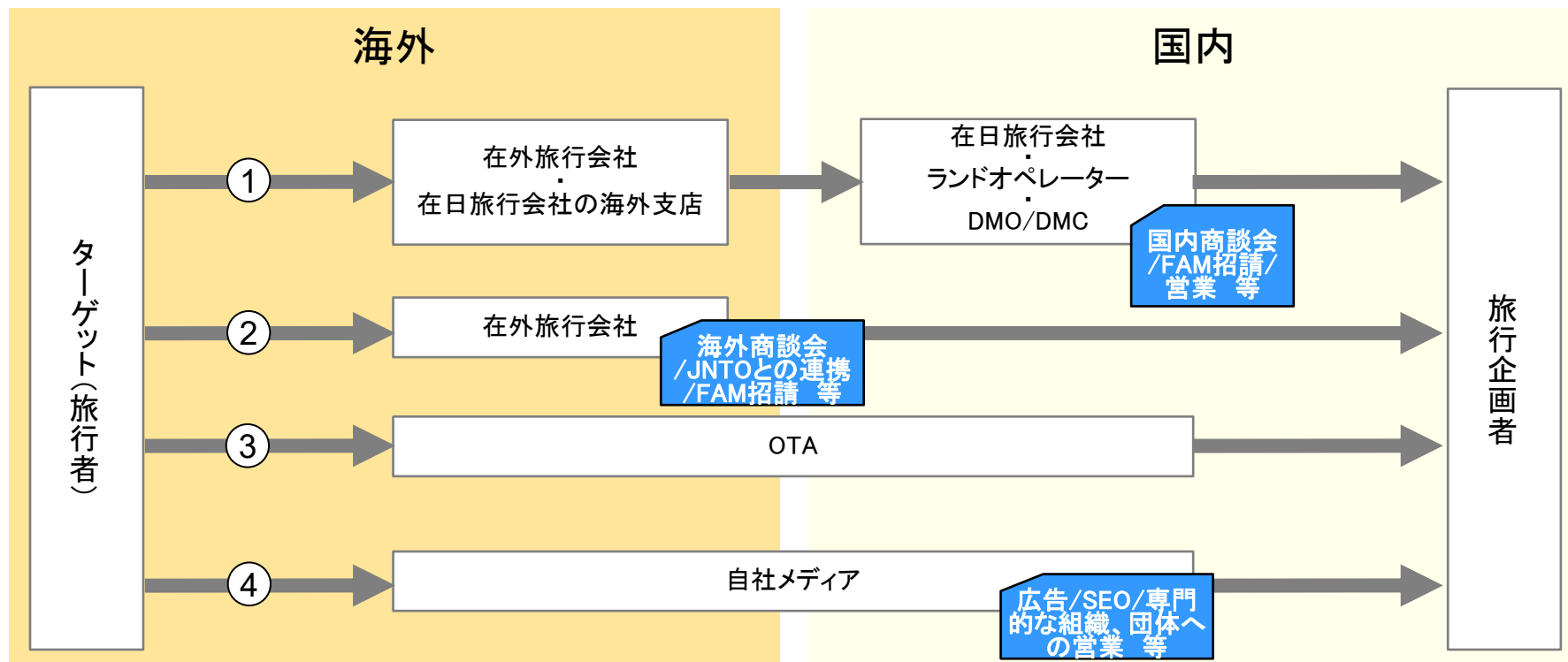


永原氏

モニターからアンケートをとる際に、「今回の旅から得られた学びは何か」、「感動したポイントは何か」、というような、オープンエンデッドの質問を設定すると、より学びがあって良いと思います。

販路

- ツアーの販路は以下の①～④が考えられます。ストーリーを伝えながら、カスタマイズ性を確保する必要があるため、①、②の販路が比較的有効と考えられます。
- また、コアなファン層をターゲットとするツアーにおいては④の販路で、こまめな情報発信をすることで、販売に繋がる可能性があります。
- 一方、③については、ストーリーの伝達、カスタマイズ性の双方の観点からロングストーリーツアーの販売には不向きと考えられます。



予約経路

凡例:

営業方法



村山氏

自社メディアでしっかりとストーリーを伝えるための、深みある情報を発信しながら顧客とのコミュニティづくりをするとともに、**中長期視点で直販するための体制づくりも重要**です。

販路

- ロングストーリーツアーの販売においては、ストーリーを崩さないよう旅行者からの要望を取り入れる必要があります。

具体的な販売先を選定する際のポイント

ストーリーや地域へ理解のある、旅行会社やランドオペレータを見つける

- ・ ストーリーへの理解
 - 旅行企画者が意図した、ストーリーに関する深い理解や共感を備えていることで、ストーリーを崩さないカスタマイズの提案が旅行者に可能となります。
- ・ ターゲットへの販売力
 - 設定したターゲットへの販売力を有している事が必要です。
- ・ 地域への還元
 - 自社利益だけでなく、地域への配慮や経済的な還元などに、理解が必要です。



高山氏


特に地域性の高い商品に対しては、信頼できる旅行会社を選んでいくという作業は重要です。例えばITBベルリン(※)では、レスポンシブルツーリズムのブースに来る旅行会社が候補として挙げられます。

(※)ITBベルリンとは、ドイツのベルリンで開催される、ドイツ市場最大規模の BtoB 旅行見本市。

(参考)販売ツールの例(1/2)

● 商談会等では、端的にツアーやストーリーの魅力が伝わるように準備をすることが必要です。

デジタルパンフレットの例（お遍路チーム）



The samurai spirit lives on

Cultivate your mind, body, and spirit as you experience firsthand how the samurai arts and traditions live on in the present day.

From JPY 1,100,000 per person for groups of 2 or more

Tour points

- 1) Personalized experiences led by masters**
Guests receive private introductory training in samurai arts from descendants of samurai families and other skilled masters.
- 2) English-speaking guides knowledgeable in martial arts**
Guests are accompanied throughout their journey by guide knowledgeable in martial arts to provide interpretation and other assistance.
- 3) Private and custom**
The itineraries personalized have announced examples; the package itself is customizable.

Contents

- P.4 Kanazawa Highlights
- P.6 Kanazawa Cultural Arts
- P.8 Tokyo Highlights
- P.10 Yamagata Highlights

1	4
3	6

1. Introduction to Kanazawa
2. Introduction to Yamagata
3. Introduction to Tokyo
4. Introduction to Kanazawa
5. Introduction to Yamagata
6. Introduction to Tokyo

3-day, 2-night plan

Day 1

13:00 A.M.
Visit a samurai district
Visit the samurai district of Kanazawa, a historical preservation area with a high concentration of samurai residences.

13:00 P.M.
Kanokoen Garden
This traditional garden is a beautiful garden with a pond, a pavilion, and a stone lantern, and is one of the best gardens in Kanazawa.

1:30 P.M.
Ngado experience
Experience the traditional ngado, a traditional Japanese art of making traditional ngado.

Day 2

9:00 A.M.
Kendo experience
Experience the traditional kendo, a traditional Japanese martial art.

10:00 A.M.
See samurai swords
See the collection of samurai swords in the samurai museum.

1:00 P.M.
Scroll a samurai-era entertainment district
Experience the traditional samurai-era entertainment district.

Day 3

9:00 A.M.
Sam museum visit
Visit the samurai museum, a traditional Japanese museum.

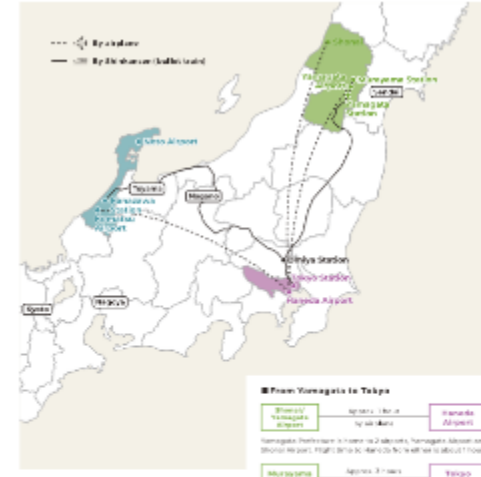
10:00 A.M.
The extremely experience
Experience the traditional samurai-era experience.

1:00 P.M.
Market train ride to Tokyo
Experience the traditional samurai-era market train ride.

Kanazawa Cultural Arts



Produced by Animatek Co., Ltd.



Access info

From Yamagata to Tokyo

Yamagata Station → (Shinkansen) → Tokyo Station

From Kanazawa to Yamagata

Kanazawa Station → (Shinkansen) → Yamagata Station

Produced by Animatek Co., Ltd.



村山氏
商談会は、関係構築が重要なので、2回、3回と継続して参加しバイヤーと顔を合わせる事が重要です。

(参考)販売ツールの例(2/2)

プロモーション動画の例 (熊野古道チーム)

動画



Kumano Kodo Iseji Pilgrimage Walk :
Vol.1 熊野古道伊勢路 Day1-Day8...



Kumano Kodo Iseji Pilgrimage Walk :
Vol.4 熊野古道伊勢路 Day11...



Kumano Kodo Iseji Pilgrimage Walk :
Vol.2 熊野古道伊勢路 Day9...



Kumano Kodo Iseji Pilgrimage Walk :
Vol.5 熊野古道伊勢路 Day12...

- 出展: Heartland Japan Youtube
<https://www.youtube.com/@heartlandjapan/videos>

第三章：関係者コメント

はじめに

第一章：ロングストーリーツアーとは

第二章：ロングストーリーツアーならではの造成のポイント

第三章：関係者のコメント

第四章：ロングストーリーツアーの造成事例

ご助言いただいた皆様のご紹介

実証事業関係者よりロングストーリーツアー造成に関して(1/4)

ロングストーリーツアーの造成で感じられた効果と課題について実証事業関係者のコメント



松本高山チーム 杉山 知子さん

ツアー造成を進める上で、地域の人々と深く関わった事で地域の可能性を強く感じました。それぞれのスポットでのガイドや地域の人々とツアーのテーマを踏まえてストーリー性を持って案内する内容やwowポイントをどのように作るか、難しさを感じました。一つ一つの体験のモニターツアーやファミツアーを経て地域の強みやブラッシュアップする点もみえてきました。地域の皆さんがイキイキできるツアーが作れたら嬉しいです！



鯖街道チーム 嶋田 幸起さん

プロジェクト実施体制構築を通じてインバウンド実践者と新たに協力関係を築けたことが事業の効果として挙げられます。事業関係者の皆さまのご支援により、地域側でネックであった専門人材やノウハウの不足解消につながり、長期滞在インバウンドツアー誘客の始動になったと捉えています。一方で、地域としてインバウンドの目標販売量とそれに必要な体制構築について関係者で議論し整理することを今後の課題として認識しています。



みやぎチーム 工藤 雅教さん

PT事業統括兼スルーガイドとして参加させて頂きました。自身は元々観光業出身ではなく、震災復興業務を機に東北に赴任した人間ですが、座学から実踏研修に至るまで非常に丁寧に構成された本事業を通じて、自身が本当に組み込んだ「観光」(震災と復興の先に持続可能性の光を観る)を具現化する機会を頂いたと強く実感しています。特に実踏研修の組織や立場を超えた一体感が強く印象に残っています。他方、「商品」としては、価格や宿泊・移動など、まだ課題も残り、事業終了後も海外パートナー等との関係性を継続しながら改善に努めて参ります。

実証事業関係者よりロングストーリーツアー造成に関して(2/4)

ロングストーリーツアーの造成で感じられた効果と課題について実証事業関係者のコメント

日本刀チーム 堀田 祐作さん



ロングストーリー造成を得て、旅行商品を造成の概念が変わりました。ストーリーに付加価値を持たせることを念頭に、これまでのスポットをめぐり、ホテルに泊まり、食事を食べるというのではなく、ストーリーを結ぶスポットで、ストーリーに関わる、宿泊施設で食事を体験することの重要性を知ることができました。また、造成しテストツアーを行うことができました。ガイドの育成についても、ターゲットをおもてなしする為に必要なスキルを養うものと理解できました。宿泊体験、食事体験をさらに磨き上げクオリティーの高い旅行商品を量産していきたいです。

お遍路チーム マシューベネットさん



多くの人を引き付ける四国遍路巡礼にストーリーを加えることにより遍路旅に付加価値を付けることができ、FITでなくロングツアーで遍路を周る動機を与えられることを実感できました。また遍路を深堀するためのコースや幾つかのコンテンツを開発し、ファムツアーでフィードバックを得られたのも良かったです。課題はプロジェクトチーム内で目指す方向が異なる 때가 多々あったことです。

お遍路チーム 西田 恵理子さん

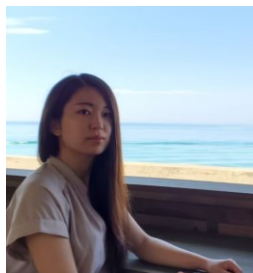


私はプロジェクトのリード企業としてだけでなく、スルーガイドとしても登録させていただきました。これまでサイクリングツアーに特化した旅行会社として、インバウンド・アウトバウンドのお客様と共に、10年近く活動して参りましたが、この度参画させていただいたことで、これまで私がやってきた活動が「アドベンチャートラベル」のカテゴリーに入っていたことを認識いたしました。これまで行ってきたことが誤りではなかったと確認すると同時にそれ以上の学びを得ることができました。特に沖縄でのスルーガイド研修においては、全く新たな見地から、ツアーを考えることができるようになりました。また、7年前から、英国の自転車協会と提携し、日本においてサイクリングガイドの育成に携わって参りましたが、今回は育成したサイクリングガイドさんのスキルアップ講習などで、今回学んだ「お客様をどうやって知るか」「どう向き合うか」「お客様に寄り添う形のストーリーテリングの手法」など、今後のサイクリングガイドの養成に役立てて参りたいと存じます。

実証事業関係者よりロングストーリーツアー造成に関して(3/4)

ロングストーリーツアーの造成で感じられた効果と課題について実証事業関係者のコメント

サムライチーム 神みずきさん



点で存在していた様々な地域の魅力的なコンテンツを、共通するテーマでつなげることによって、ストーリー性が生まれ、高付加価値な魅力的なツアーが仕上がりました。また、本事業を通して磨き上げを行ったことにより、一つ一つのコンテンツにも深みができました。実際に本事業で造成したツアーを、商談会で海外エージェント30社にプロモートしましたが、高単価な商品にもかかわらず大変反響が良く、具体的な引き合いや直近の予約につながっています。課題については、ガイド及びコンテンツを提供する事業者が、ツアー全体をより深く理解することです。

茶の湯チーム 井上良子さん



文化に根ざす知恵や技術は言語化しにくいいため、専門家とリサーチを経て体験価値に紡いできましたが、旅へ昇華させるには「高いガイドスキルを有する経験者との役割分担が肝」と各研修で体感しました。観光分野への新規参入者には、全国の志あるガイドや地域企業等と旅開発フェーズに臨めたことは有意義であり、未来へ還元する寄附付モデルに対して国からも期待いただいたことは、世代を越えて挑戦される職人等との共創にも後押しとなりました。

黒潮チーム 前田一樹さん



異なる地域で(同テーマを持つ)異なったコンテンツを繋ぐことで、それらの魅力や理解が増していくことを体感できました。我々のように距離が離れた2地域で異なった形でテーマを取り扱う場合、スルーガイドが全てをカバーできるのが理想ではあるが、実際は各地域を得意とするガイドとコーディネーターが必要です。さらにはその内容をお互いが体感して初めて各地域とテーマの魅力が倍増します。机上のツアー造成では成し得ない実りある事業となりました。

実証事業関係者よりロングストーリーツアー造成に関して(4/4)

ロングストーリーツアーの造成で感じられた効果と課題について実証事業関係者のコメント



熊野古道チーム 杉崎 誠さん

熊野古道伊勢路の巡礼というテーマのもと、地域の観光資源を活用したツアー造成に、県境を超えた12の市町の関係者で取り組むことができました。また、外国人参加者によるロングトレイルの巡礼旅への評価と、ツアーを受け入れた地元関係者によるインバウンドへの期待を感じることができました。さらに、事務局の伴走支援によって、節目ごとに効果的な助言が得られました。今後は、宿泊施設の受入人数や荷物の運搬サービスなど、受入体制の課題の解決に努めていきます。



琉球奄美チーム 浅倉彩さん

琉球弧の精神文化は真価が目に見えず多様です。島の人びとの心の奥深くにある大切なものをいかに表面的にならずに伝えるか。簡単に触ってはいけない難しさがありました。今回の機会をいただけたことで、集中的に、また多くの関係者のご協力を得てコンテンツ化に取り組むことができました。東洋思想が世界の人びとのwell-beingに提供できる価値は大きいと考えます。この事業を機に、引き続き深め広げたいと思います。

第四章：造成事例

はじめに

第一章：ロングストーリーツアーとは

第二章：ロングストーリーツアーならではの造成のポイント

第三章：関係者のコメント

第四章：ロングストーリーツアーの造成事例

ご助言いただいた皆様のご紹介

【松本高山チーム】

Live together with Japanese Alpine Culture –Associate with craftsmanship, architecture, and water–

ストーリー（簡易）
サブストーリー

松本・高山の異なる文化圏に広がる「木の文化」「水の文化」を知り、その起源となる北アルプスでの営みに触れることで、自然との共生ではなくまれた「資源循環」「資源再生」「人間性の再生」があることを体感する。

最初に水にまつわる体験から、今後の展開を想起する

木材を使い、植樹をして森を再生させ、また使うという木のサイクルを学ぶ

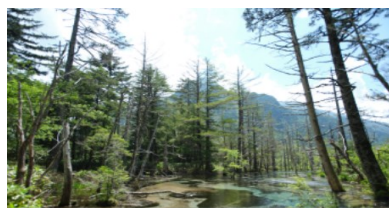
自然環境を保護しつつ、共に暮らす。自然の恵みへの感謝を体験で体感

日本の家庭の暮らしに触れることで、自然と生活との関わりを実感

松本・高山の異なる文化圏に広がる「木・水の文化」に触れる体験を通じて、資源の循環と再生を体感する

■ストーリーの根幹となる体験

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
松本		上高地		高山(福地温泉)	飛騨国府	高山
金宇館	扉温泉 明神館	五千尺ホテル	五千尺ホテル	かつら木の郷	谷屋	
松本駅	ナイトホッピングツアー	（乗鞍高原・国立公園内） PINEBOサイクリング ホットサンドランチ	岳沢小屋にてランチ	温泉地散策	（野村農園・古民家カフェランチ） Eバイクツアー	高山から富山空港へ
湧水コーヒー	ギャラリー訪問（木作家からのお話）	利き酒体験（試飲）・自由散策	上高地 穂高連峰トレッキング	沢歩き（予定が合えば、木地屋 溪谷・木地師末裔の話をもつ） OFF THE GRID COFFEE	白栗不動産（古民家移築に対する思いや移築技術について伺う）	地元産チーズ・ベアリング、夕食はガイドの手作り料理
城下町湧水群を散策↓	ランチ		バレルサウナ	星空見学	囲炉裏料理の夕食	



上高地トレッキング



バレルサウナ



沢歩きとOFF THE GRID COFFEE

【鯖街道チーム】

IN SEARCH OF WASHOKU:THE MACKEREL HIGHWAY

和食のルーツである鯖街道の暮らし方を体験することで、自然の尊重、自然と食への祈りの文化、食や命を大切に感謝の心を学ぶ。

京都の和食をいただく

京都の食を支えた鯖街道を辿ることで、里・山・海・水・発酵などの和食の「もと」を生む自然や暮らしを知る

改めて京都の和食をいただく。

食を生み出す自然と活かす人と出会う

自然への祈りに触れる

自然を尊重する食文化を知る

■ストーリーの根幹となる体験

ツアー行程（地域・宿泊施設・コンテンツ）

1日目 (京都)	2日目(里)	3日目(山)	4日目(水)	5日目(海)	6日目(発酵)	7日目 (京都)
京都		福井			滋賀	京都
The Shinmonzen	八百熊川	小浜町家ステイ	小浜町家ステイ	小浜町家ステイ	福田屋	
→						
京都駅	そとで夕食 出町榊形商店街の散策	かまど炊き体験 鯖街道サイクリング・ウォーキング	町家ベーカーリー！ 小浜西組町歩き	瓜割の滝 神宮寺	職人工房訪問 競り見学・マリンアクティビティ	草喰なかひがしで夕食 水辺街道散策
	野菜の収穫体験・足湯 農家レストラン 大原工房・大原集落散策	京都料理人によるディナー		明通寺・阿字観 若狭塗ギャラリー見学・職人工房訪問	湧水見学・和菓子体験 発酵食の料理人ガイド	針江の生水 湖水料理



料理人による食体験



食のスター生産者との交流



和菓子体験

【みやぎチーム】

MORI-SATO-UMI VOYAGE: Navigating Growth, Effecting Change

ストーリー(簡易)
サブストーリー

ツアー行程(地域・宿泊施設・コンテンツ)

「森里海の連環」の語り手となる地域の人々との出会いを通じ、「彼ら・彼女ら」のナラティブに触れながら、「震災と復興」という共通の大きなストーリーを見出し、持続可能な未来を共に創るという「我々の物語」の一部となる。

宮城・三陸沿岸の「森里海の連環」は、森と大地と海のミネラルの邂逅により、地域に大きな恵みをもたらす。

一方で、その象徴であるリアス地形は、震災時には津波の威力を増幅させるなど、自然は人間の「善悪」の基準を遥かに超えたところにある。自然と共に生きる意味を体感しながら、「持続可能性」について再考する。

東日本大震災は「誰か他人の過去」の出来事ではなく、「誰にでも起こりうるもう一つの可能性」の話として、今後の行動変容に繋げる。

■ストーリーの根幹となる体験

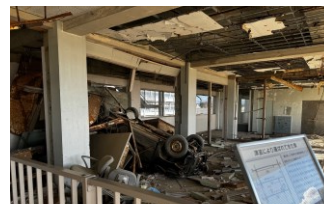
1日目		2日目		3日目		4日目		5日目		6日目		7日目														
仙台市内		塩竈	松島	東松島		石巻				気仙沼																
ホテルモロリタン仙台、ウェスティンホテル仙台等		大観荘、松庵、うちみ旅館等		KIBOTCHA、奥松島Lane Hotel		石巻グランドホテル、おしか家族村オートキャンプ場		ホテル一景閣、網元の宿 磯村、気仙沼プラザホテル、森里海キャンプ等																		
⇒			⇒										⇒													
各空港↓元仙台駅 仙台市内	伊達家導入	仙台横丁バーホッピングにてスルーガイドとのアイスブレイク	塩竈神社、浦霞醸造元佐浦、藻塩造り、水産物仲卸市場	遊覧船で移動：塩釜↓松島町	瑞巖寺↓雄島、観瀾亭	美馬森八丸牧場・馬との触れ合いを通じたチームビルド	夕食：KIBOTCHA BBQ、講話	美馬森八丸牧場・森の散策と馬搬(Horse Logging)見学	宮城オルレ奥松島コース	日本三大渓・嵯峨溪遊覧船	相澤太氏・海苔WS	ODYSSEY、さとうみプログラム	夕食・寿司正、ちゃんこ萩乃井等に海苔実食	おしか御番所公園にてリアス眺望	牡鹿半島ビジターセンター	夕食・寿司正、ちゃんこ萩乃井等に海苔実食	なかのカヤック・ジビエ体験	気仙沼移動↓夕食・福よし	気仙沼復興祈念公園にて震災導入	磯屋水産で調理体験用の具材調達	森は海の恋人・環境教育プログラム	森は海の恋人・調理体験プログラム	気仙沼魚市場・内湾地区早朝散歩	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館にて大きな物語」の提示	道の駅大谷海岸にてクロージング	気仙沼↓元仙台駅



美馬森八丸牧場 Natural Horse-manship®プログラム



森は海の恋人・環境教育プログラム
和船あざ丸乗船と牡蠣筏見学



気仙沼市東日本震災遺構・伝承館にて物語の終章へ

【日本刀チーム】

The Japanese sword story ~ Tamahagane and Master swordsmith

「日本刀」をテーマに、本物(名刀・玉鋼)との出会い、刀匠・職人との交流を通じ、日本文化・日本刀(現代刀)への畏敬の念を深め、高める。

伝統的工芸美術品「日本刀」の魅力・本物との出会い。

文化遺産と日本刀との繋がり・精神文化を知る。

玉鋼(たたら文化)・現代刀匠・職人のものづくりの心に触れる。

歴史・文化・技術の伝承に触れる。

■ストーリーの根幹となる体験

1日目 岡山	2日目 島根	3日目 島根	4日目 島根	5日目 広島	6日目 山口 広島	7日目 広島
倉敷市美観地区:料理旅館 鶴形	松江市内:皆実館	松江市内:皆実館	奥出雲町: 亀嵩温泉 玉峰山荘	広島市内: ヒルトン広島	広島市内: ヒルトン広島	
林原美術館(日本刀鑑賞) 備前長船刀剣博物館(古式鍛錬体験)	→ 紅葉館(精進料理体験・散策) 足立美術館(鑑賞)	出雲大社(奉納等・文化遺産鑑賞) 松江城(国宝松江城・武士道体験)	たたら鉄の歴史館・菅谷たたら山内 昼食郷土料理(割烹すぎ原)	⇒ 日本刀鍛錬道場訪問(刀匠交流) 金屋子神社(火の神)祈禱体験 金屋子神社(火の神)祈禱体験	⇒ 戦国の歴史史館(日本刀抜刀体験) (国宝 狐ヶ崎為次)復元品体験 錦帯橋・吉川史料館 (狐ヶ崎為次復元品鑑賞)	熊野筆生産地訪問(書道体験) または明見鍛刀場(和包丁購入) 昼食(フェアウェルパーティー)



日本刀古式鍛錬体験



国宝松江城・武道体験



日本刀鍛錬道場訪問



甲冑装着・日本刀抜刀体験

ストーリー(簡易)
サブストーリー

ツアー行程(地域・宿泊施設・コンテンツ)

【お遍路チーム】

Shikoku Pilgrimage AT -The Dojo of AWAKENING-

弘法大使の巡礼旅を追体験しながら彼の教えや考えに迫り、自分の心と向き合いつつ人生で本当に大切なことは何かを再考し、外界の変動や混乱から離れ、内なる心の静けさや平和を求る四国遍路巡礼を発心する。

巡礼スタート:クルーズやEbikeで1-6番札所を巡り、四国遍路の基礎的な概念を学ぶ。

仏教体験:瞑想や写経、修行道の経験を通し、自分と向き合い、学んだ知識を体感する。

日本里山:伝統的暮らしを通し、他国との違いの根底に神道、仏教の考えがあることに気付く。

巡礼ゴール:再び巡礼旅に戻り、寺院を巡りながら自己と向き合い、遍路巡礼者の心を発心する。

■ストーリーの根幹となる体験

1-2日目 鳴門市、坂野町、上坂町	3-4日目 吉野川市、徳島市	5-6日目 上勝町	7-8日目 阿南市、美波町
1-6番巡礼旅	瞑想、写仏、説法、修行道体験	上勝ゼロウエスト町里山体験	20-23番巡礼旅
旅の説明とウエルカムパーティ	宿坊での瞑想、写仏体験	ゼロウエスト体験ガイド	発心の道場最後のお寺へ
1-6番札所の四国遍路巡礼旅	神仏習合等の説法	日本里山の暮らし体験	ロープウェイに乗って本ツアーで最も美しい寺院へ



四国遍路霊場巡礼旅



瞑想や神仏習合の説法



上勝町里山体験

ストーリー(簡易サブストーリー)

ツアー行程(地域・宿泊施設・コンテンツ)

【サムライチーム】
Samurai Story (Kanazawa, Tokyo, Yamagata)

ストーリー(簡易)
サブストーリー

サムライの繁栄期から衰退期における文化体験を通じ、日本の精神文化を理解し、現代に繋がる学びを得る。

武道、武家文化に息づく武士道精神を体感し、日本人が大事にする考え方について学ぶ。

新しい時代を生き抜くためにラストサムライが残したものから、現代に繋がる学びを得る。

■ストーリーの根幹となる体験

ツアー行程(地域・宿泊施設・コンテンツ)

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目																
金沢			東京		山形																		
Hyatt Centric金沢			ブルガリホテル		スイデンテラス		齊館	湯野浜温泉 亀や															
			⇒		⇒			⇒															
兼六園散歩	弓道体験	武家屋敷散策	剣道体験	刀剣見学・居合見学	加賀藩料理(武士の献立)	鈴木大拙館・茶屋町見学	茶道体験	⇒ 新幹線(金沢↓東京)	相撲稽古見学	相撲博物館・刀剣博物館	浅草見学	⇒ 飛行機(東京↓庄内)	農家料理	致道博物館	座禅体験	アルケッチャーノ	出羽三山	開墾記念館(サムライシルク)	舞妓演舞	山居倉庫	最上川舟下り	居合道(抜刀体験)	⇒ 新幹線(村山↓東京)



剣道体験



刀剣見学・居合見学



居合道

【茶の湯チーム】

7 Day Craftsmanship of Tea Tour [Kyoto, Uji and Aizu-wakamatsu]

ストーリー（簡易）
サブストーリー

茶の湯のものづくりに関連する体験を通じて、文化の礎となった風土や歴史を見つめ持続可能な社会における人と自然のウェルビーイングを探り、つくる行為や現代社会の暮らしや働きを捉え直すための叡智に気づく。

京都では旅の入り口としての茶会、坐禅や職人との漆塗り体験を行い、公家文化が育んだ宇治のお茶や工芸の美しさ、自然との共生を感じる。

会津若松の武家文化や茶の湯の精神性を現代に活かすものづくりの姿、職人の在り方を通して自身の日常とつなげ茶を立て、つくる行為を楽しむ。

■ストーリーの根幹となる体験

1日目	2日目				3日目				4日目				5日目				6日目				7日目			
	京都～宇治								会津								会津・東京				東京			
NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO								会津東山原瀧 or いろいろの宿 芦名								NOHGA HOTEL								
TRAFFICJAPAN オリエンテーション	下御霊神社を参拝	茶道体験	漆塗職人を訪問	座禅体験（大徳寺）	京都の町並み散策	町家で、旅の感想を振り返り	夕食	宇治の紹介	茶畑を訪問、製茶の仕事を探る	窯元訪問、茶碗を選び茶を点てる	自由時間	⇒ ホテル↓伊丹空港	⇒ 新潟空港↓福島	ながりを知る） 御薬園見学（京都と会津の茶道のつなぎ） （関 昌邦さん）	会津のものづくりについて話を聞く	本地職人の仕事や道具を尋ねる	刷毛職人の仕事や道具を尋ねる	野点用茶椀の内面漆塗り体験	自由時間	自由時間	野点体験（湖・山・鶴ヶ城ほか屋外）	旅の振り返り	会津若松駅↓東京駅	現地解散（東京）

ツアー行程（地域・宿泊施設・コンテンツ）



漆塗職人を訪問



茶畑／窯元を訪問



拭き漆・野点体験

【黒潮チーム】

Bounty of the Kuroshio: Hiking and Snorkeling in National Parks

島国日本の地理的特徴である山と海の近さ、それらを感じる体験を通して、日本の魅力の「なぜ」を紐解きながら人と自然との共存を「自分ごと」に感じられるようになる。

東北地方では、トレッキングや魚市場・牡蠣筏見学を通じて、亜寒帯でありながら黒潮がもたらす海の恵み(世界三大漁場と内湾リアス式海岸の養殖)を体感する。

八重山エリアでは、シュノーケルやサバニクルーズを通じて、旅の前半とは違う視点での黒潮がもたらす豊かな自然(サンゴ礁の海)を体感する。

■ストーリーの根幹となる体験

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目															
	仙台ー松島	松島ー塩竈	女川	気仙沼	移動	石垣島ー小浜島	小浜島	西表島		石垣島															
	ホテル松島大観荘		気仙沼プラザホテル			はいむるぶし		西表島ホテル																	
⇒	成田↓東京↓仙台	メトロポリタンイースト ウエルカムオリエンテーション	東北博物館見学 西行戻しの松公園	松島イタリアンランチ 松島タウンウオーク	遊覧船で塩竈へ 塩竈神社参拝(神楽奉納を見学)	塩竈タウンウオーク ブツフェイナナー 早期シーカヤック フリータイム(松島) 地元ラーメン	みちのく潮風トレイル(松島塩竈エリア)	グツフェイナナー みちのく潮風トレイル(松島塩竈エリア)	女川井 グツフェイナナー みちのく潮風トレイル(松島塩竈エリア)	女川タウンウオーク 気仙沼タウンウオーク 男山酒造所見学&ブリュワーズテーブル 早朝魚市場見学 漁師の朝ごはん 牡蠣筏見学と試食 季節の地元素材のランチ	季節の魚デイナー みちのく潮風トレイル(唐桑ルート) 季節の地元素材のランチ 牡蠣筏見学と試食 漁師の朝ごはん 早朝魚市場見学 男山酒造所見学&ブリュワーズテーブル 気仙沼タウンウオーク 女川タウンウオーク	⇒	鍾乳洞 沖縄料理デイナー 気仙沼ー仙台空港ー那覇空港ー石垣空港	⇒	バナナ公園展望台 泡盛酒造所見学 地元高校生発案のばち農弁当 石垣島↓小浜島 小浜島ポタリング ローカル居酒屋 シュノーケル講習	⇒	ぬちぐすいブツフェ ポートシュノーケル シュノーケル講習	⇒	小浜島↓西表 カフェ古見村にてランチ サバニクルーズ サンセットタイム ホテルにてブツフェタ食	⇒	浦内川遊覧&トレッキング 特製エゴ弁当 島料理・島酒ダイニング	⇒	西表野生生物保護センター 西表島ー石垣島 石垣島↓東京	⇒	石垣島↓東京 石垣島ー市街地散策



みちのく潮風トレイル



シュノーケリング



浦内川トレッキング

ストーリー(簡易)
サブストーリー

ツアー行程(地域・宿泊施設・コンテンツ)

【熊野古道チーム】

Long Trail- Kumano Kodo Iseji Pilgrimage Journey

ストーリー（簡易）
サブストーリー

熊野古道伊勢路の豊かな自然を歩くロングトレイルや地域での自然文化体験、地域の方との交流を通じて、日本の祈りと精神文化を体感します。

旅を終える頃には精神的豊かさや自らの人生観を思わず振り返ってしまうような「巡礼者となる旅」を約束します。伊勢路ハイライトの海に見える峠はもちろん、江戸のお伊勢参り文化や素朴な地域信仰に触れる機会や地域の人達との交流を取り入れ、12日がWowの連続！

ストーリーの根幹となる体験

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目																																		
三重県										和歌山県																																			
麻吉旅館	栄亭旅館	岡島屋旅館	民泊いづほ川辺の宿さんずい 古民家べっぴん民宿	12月 古里温泉 桃太郎 12月古里温泉 美乃島	ホテルピオラ	ながらのおうち Al Ralenti Mikisatoゲストハウス 三次屋	新鹿ゲストハウス	鬼のさんぼみち	民宿はなあそび 民宿るん家	休暇村 南紀勝浦																																			
午前中移動	麻吉旅館・伊勢音頭 旅の解説・御朱印帳作成 宇治山田駅・昼食	二見興玉神社参拝	おほらい町自由屋食	■伊勢神宮内宮参拝・神楽奉納	■栄亭旅館・十界曼荼羅道中紹介	田丸出発・女鬼峠	■柳原観音・茶道体験	■鄧茅ミシユラン弁当	■岡島屋旅館	■馬鹿曲・元巡礼宿見学	■農林漁業体験民宿	■三瀬坂峠	■屋食・うどん屋	■魚町散策・妖怪河童伝説	■道の駅自由屋食	■瀧原宮参拝・荷坂峠	■古里温泉郷	■サボ鼻水平道・三浦峠	■道の駅自由屋食	■馬越峠・尾鷲神社	■ホテルピオラ・焼鳥夕食	■「民間信仰 庚申講」	■八鬼山・地元弁当	■スペインバル料理	■民泊	■三木峠・羽後峠・山の神	■新鹿ゲストハウス・自炊	■飛鳥神社・雨母峠	■手作りハンバーガー	■鬼のさんぼみち・めはり寿司	■波田須・大吹峠	■屋食・ピーガンカレー	■二木島峠・逢神峠・鯨文化	■自由屋食・みかんジュース飲み比べ	■松本峠・花の窟・獅子岩	■横手延命地藏・神内神社	■紀宝町民泊・民宿	■三反帆・速玉大社	■三輪崎カフエ屋食	■宇久井ビクターセンター	■休暇村南紀勝浦・夕食	■補陀落山寺・曼荼羅絵解	■大門坂・食堂屋食	■熊野那智大社・青岸渡寺	■熊野那智大社・青岸渡寺

ツアー行程（地域・宿泊施設・コンテンツ）



伊勢音頭



巡礼



めはり寿司作り体験



三反帆



曼荼羅絵解

【琉球奄美チーム】

RYUKYU : The Sacred Island of JAPAN

ストーリー(簡易)
サブストーリー

解放された六感で捉える大いなる存在-神-との一体感を体得し、これまでとは違う人生を歩き始める
※動画をご覧ください https://www.youtube.com/watch?v=IZM_EDMegdE

世界自然遺産の大自然に飛び込み体を動かしたり、自然の恵みを受け取る古来からの営みをなぞる体験を通して、五感を開いていく。

五感を開いた状態で島づたいにやんばるに上陸し、霊山アスムイ巡礼へ。国家から家族までさまざまなスケールの拝みや死生観への理解を通して琉球の心に触れ、六感を解放し神との一体感を取り戻す

■ストーリーの根幹となる体験

ツアー行程(地域・宿泊施設・コンテンツ)

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
	奄美大島			やんばる地域		
星宿	星宿	星宿	南溟森室	南溟森室	南溟森室	
奄美空港到着	関係を学ぶ 泥染体験で大島紬と島の自然の 拝所をめぐる 阿麻弥姑神社、ノ口墓、立神岩など	塩炊きと夕食 国指定文化財 旧安田家住宅主屋	与論島↓本部港(船) 奄美大島↓与論島(空路)	民具づくり。サバニ体験	かまど炊きご飯の朝食	那覇空港到着
絶景の岬まで海岸を眺め走る のバイクで世界自然遺産トレイル	出張料理人による夕食・ 神酒を味わう	ミキの手づくり工房で主人と交流	与論島↓本部港(船) 奄美大島↓与論島(空路)	笑味の店のお弁当	霊山アスムイを巡礼	(百按司墓/今帰仁グスク等)神人がお客様に適した拝所を選び訪問
			出張料理人による夕食	集落の名物料理ハイケイBBQ	オプシオンで神人の個別鑑定	
			集落案内を提供しながら歩いて宿へ			



島の自然で美を生み出す



伝統航海船サバニで海を駆ける



神人と霊山アスムイ登頂

第五章：ご助言いただいた皆様のご紹介

はじめに

第一章：ロングストーリーツアーとは

第二章：ロングストーリーツアーならではの造成のポイント

第三章：関係者のコメント

第四章：ロングストーリーツアーの造成事例

ご助言いただいた皆様のご紹介

本事業実施にあたりご助言いただいた皆様

- 本事業の実施にあたり、各種ご助言をいただいた有識者の皆様をご紹介します。
- 本手引きにおいては、有識者の皆様の数多のご助言から読者の皆様のヒントになるもの絞ってご紹介させていただきました。

お名前(敬称略)	ご所属
川原 晋	東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授
國谷 裕紀	Adventure Travel Trade Association Business Manager, Asia
久保田 美穂子	亜細亜大学 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 准教授
高山 傑	株式会社スピリット・オブ・ジャパン・トラベル 代表取締役
藤内 大輔	独立行政法人国際観光振興機構 市場横断プロモーション部 部長
永原 聡子	デネブ株式会社 代表取締役
Mark Brazil	Author, Naturalist, Expedition Leader, Lecturer & Outdoor Guide Trainer
村山 慶輔	株式会社やまところ 代表取締役
森下 晶美	東洋大学 国際観光学部 教授